



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋  
 コード番号 9850 URL <http://www.gourmet-kineya.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 森田 徹

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,676	2.8	1		27		6	
29年3月期第1四半期	9,415	0.7	56		47		30	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 52百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 40百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.28	
29年3月期第1四半期	1.37	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	31,636	14,591	44.9	629.25
29年3月期	32,471	14,683	44.4	638.25

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 14,209百万円 29年3月期 14,414百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		14.00	14.00
30年3月期					
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,584	0.7	345	7.9	427	27.3	243	51.7	10.78
通期	39,584	0.4	651	57.9	774	78.2	377	11.5	16.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	22,610,359 株	29年3月期	22,610,359 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	28,911 株	29年3月期	26,471 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	22,582,543 株	29年3月期1Q	22,589,320 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調であるものの、先行きの不透明感が否めない状況が続いております。

外食産業を取り巻く環境は、人材不足による人件費高騰や競合他社による積極的な出店による影響により顧客獲得に向けた企業間競争は激化しており、引き続き厳しい経営環境に直面しています。

このような環境下で当社では、前連結会計年度において設立から50年となり、新たな「新3ヶ年中期経営計画」のもと、当連結会計年度は成長ステージの年度として、「主力事業であるレストラン事業の収益力の強化」「ホールディングス機能の強化によるグループ収益力の強化」「投資案件への積極的な取り組み」「グローバル展開」を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高96億76百万円（前年同期比2億60百万円増）、営業損失1百万円（前年同期は営業損失56百万円）、経常利益27百万円（前年同期は経常損失47百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## (レストラン事業)

既存店の業績回復を柱に、業績不振店舗の改装・業態変更を推進し、また、㈱銀座田中屋を子会社化いたしました。その結果、店舗数は3店舗増加（前年同期1店舗）し、退店4店舗（前年同期5店舗）を行い、当連結会計期間末における店舗数は40都道府県に409店舗となりました。改装は6店舗実施し、このうち2店舗の業態変更を行いました。既存店舗の売上は順調に推移し増収となりましたが、一過性のイベント費用負担の影響もあり減益となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は70億58百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益は1億96百万円（前年同期は2億8百万円の利益）となりました。

## (機内食事業)

㈱エイエイエスケーターリングにおいては、関西国際空港における欧州やアジア便等でインバウンドの搭乗客が増加するなど好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は11億88百万円（前年同期比8.1%増）、セグメント損失17百万円（前年同期は90百万円の損失）となりました。

## (業務用冷凍食品製造事業)

㈱アサヒケーターリングにおいては、本社工場の冷凍食品の製造受注が増加し増収増益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は4億56百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント損失51百万円（前年同期は64百万円の損失）となりました。

## (不動産賃貸事業)

大阪木津市場㈱の地方卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みに推移し、増収増益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は1億64百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益77百万円（前年同期は73百万円の利益）となりました。

## (運輸事業)

水間鉄道㈱においては鉄道及びバス旅客数はほぼ前年同期並みに推移し増収となりました。またコストコントロールが効果を及ぼし増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は1億14百万円（前年同期比8.1%増）、セグメント損失7百万円（前年同期は26百万円の損失）となりました。

## (その他)

大阪木津市場㈱で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が減少し減収となりましたが、コストコントロールの効果が及び増益となりました。日本食糧卸㈱で展開しております米穀卸売事業は販売数量の減少により減収となりましたが、原材料は高騰しているものの経費のコストコントロールの効果が及び増益となりました。

以上の結果、その他の売上高は6億93百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益4百万円（前年同期は8百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8億34百万円減少して316億36百万円となりました。これは主に現金及び預金7億81百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7億42百万円減少して170億45百万円となりました。これは主に借入金4億46百万円及び未払法人税等1億76百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少して145億91百万円となりました。これは主に配当金の支払い3億16百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の44.4%から44.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,358,134	5,577,039
預け金	890,335	818,585
売掛金	1,222,036	1,251,974
商品及び製品	323,794	395,572
原材料及び貯蔵品	214,107	265,388
短期貸付金	6,434	11,397
繰延税金資産	57,863	67,085
その他	661,339	341,989
貸倒引当金	△3,991	△2,110
流動資産合計	9,730,054	8,726,921
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	25,278,480	25,499,328
減価償却累計額	△18,549,567	△18,780,513
建物及び構築物 (純額)	6,728,913	6,718,815
機械装置及び運搬具	2,579,699	2,613,554
減価償却累計額	△2,080,281	△2,124,714
機械装置及び運搬具 (純額)	499,417	488,839
工具、器具及び備品	1,645,100	1,717,362
減価償却累計額	△1,322,062	△1,371,298
工具、器具及び備品 (純額)	323,037	346,064
土地	7,759,381	7,759,381
建設仮勘定	4,928	12,208
有形固定資産合計	15,315,677	15,325,309
<b>無形固定資産</b>		
のれん	-	166,691
その他	50,352	49,885
無形固定資産合計	50,352	216,577
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,142,207	1,204,292
長期貸付金	80,714	78,720
差入保証金	6,033,044	5,972,855
その他	137,575	130,813
貸倒引当金	△18,532	△18,654
投資その他の資産合計	7,375,010	7,368,027
固定資産合計	22,741,040	22,909,915
資産合計	32,471,094	31,636,837

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,168,343	1,126,137
短期借入金	200,000	470,000
1年内償還予定の社債	370,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	2,817,452	2,664,527
未払金	335,905	272,000
未払費用	1,776,974	1,644,372
リース債務	21,725	21,789
未払法人税等	239,557	63,162
未払消費税等	163,881	239,110
賞与引当金	126,158	81,449
資産除去債務	19,531	18,808
その他	176,189	257,450
流動負債合計	7,415,718	7,228,807
固定負債		
社債	1,290,000	1,290,000
長期借入金	5,681,434	5,117,635
長期未払金	30,231	30,006
リース債務	57,933	52,462
繰延税金負債	1,461,916	1,470,376
資産除去債務	1,119,587	1,122,442
転貸損失引当金	18,750	18,000
退職給付に係る負債	135,289	140,156
その他	576,293	575,243
固定負債合計	10,371,436	9,816,323
負債合計	17,787,154	17,045,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,774,226	6,838,733
利益剰余金	1,532,974	1,210,487
自己株式	△24,313	△26,909
株主資本合計	14,121,124	13,860,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316,927	370,552
退職給付に係る調整累計額	△23,800	△21,721
その他の包括利益累計額合計	293,126	348,830
非支配株主持分	269,689	382,327
純資産合計	14,683,939	14,591,706
負債純資産合計	32,471,094	31,636,837

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	9,415,122	9,676,052
売上原価	5,840,954	5,962,717
売上総利益	3,574,167	3,713,334
販売費及び一般管理費	3,630,492	3,714,399
営業損失(△)	△56,325	△1,064
営業外収益		
受取利息	3,053	2,635
受取配当金	14,533	16,871
賃貸料収入	23,772	25,588
その他	12,549	16,327
営業外収益合計	53,908	61,423
営業外費用		
支払利息	26,841	19,120
賃貸費用	17,103	11,384
その他	794	2,154
営業外費用合計	44,739	32,659
経常利益又は経常損失(△)	△47,155	27,699
特別利益		
固定資産売却益	49	-
受取補償金	29,872	5,000
特別利益合計	29,921	5,000
特別損失		
固定資産除却損	5,673	5,345
退店違約金	-	6,977
特別損失合計	5,673	12,322
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△22,907	20,377
法人税、住民税及び事業税	11,579	24,017
法人税等合計	11,579	24,017
四半期純損失(△)	△34,487	△3,640
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	△3,621	2,671
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,866	△6,312

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△34,487	△3,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,819	53,625
退職給付に係る調整額	2,091	2,276
その他の包括利益合計	△5,727	55,901
四半期包括利益	△40,215	52,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,785	49,390
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,429	2,871

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	6,926,328	1,099,097	417,805	164,367	105,574	8,713,173	701,949	9,415,122	—	9,415,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,554	95,004	—	23,268	120,827	207,544	328,371	△328,371	—
計	6,926,328	1,101,651	512,809	164,367	128,843	8,834,000	909,493	9,743,493	△328,371	9,415,122
セグメント利益又は 損失(△)	208,765	△90,398	△64,952	73,428	△26,146	100,696	△8,987	91,709	△148,034	△56,325

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△148,034千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	7,058,015	1,188,530	456,874	164,586	114,116	8,982,123	693,928	9,676,052	—	9,676,052
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,622	88,012	—	14,515	109,150	271,607	380,758	△380,758	—
計	7,058,015	1,195,152	544,887	164,586	128,632	9,091,273	965,536	10,056,810	△380,758	9,676,052
セグメント利益又は 損失(△)	196,864	△17,690	△51,425	77,704	△7,384	198,068	4,341	202,409	△203,474	△1,064

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△203,474千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. 当第1四半期連結会計期間より㈱銀座田中屋を連結子会社化しており、レストラン事業に区分されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(のれんの金額の重要な変動)

「レストラン事業」セグメントにおいて、㈱銀座田中屋の株式を取得して連結子会社としたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては170,966千円であります。